

「マザー・テレサ 愛は限りなく」講演会・写真展

写真家・沖守弘が1974年からひたむきに撮り続けたマザー・テレサ 愛の奇跡



沖 守弘 OKI MORIHIRO

1929年、京都府生まれ。日本写真家協会会員・二科会会員。近畿大学卒業。1974年以来、マザー・テレサの活動を密着取材し、日本に初めてマザー・テレサを紹介した。2004年、スペイン・バルセロナにあるサグラダ・ファミリア教会で大型写真展を2か月にわたり開催、世界各地からやってきた人びとに「愛」と「平和」を唱えたマザーのメッセージを伝えた。

現在も国内外の各地で開かれる写真展や講演会は、来場者の大きな反響を呼んでいる。2010年秋には、マザーの生誕100年を記念し、ミラノ、アッジ、ローマの各地で写真展を開催。また、これまでインド各地を100回以上訪れ、ヒンドゥーの伝統行事・芸能・文化全般を紹介している。

＜著書販売＞（講演会当日）



- 写真集「マザー・テレサ愛は限りなく」小学館¥2,625
- 単行本「マザー・テレサ あられる愛」講談社¥1,575
- 文庫本「マザー・テレサ あられる愛」講談社¥520
- 児童書青い鳥シリーズ講談社¥672
- 「マザー・テレサ かぎりない愛の奉仕」くもん出版¥1,365
- 学習まんが人物館「マザー・テレサ」小学館¥893
- 学習コミック「マザー・テレサ」講談社¥735



＜マザー・テレサ＞（本名アグネス・ゴンジャ・ボヤジュ）略歴

1910年8月26日、オスマン帝国領のコソボ州（現代のマケドニア）でアルバニア人の家庭に生まれる。

12歳の時には将来、インドで修道女として働きたいという望みを持っていた。

18歳のとき、故郷のスコピエを離れロレト修道女会に入ってカルカッタへと赴く。

1931年にインドのダージリンに赴いた。初誓願、修道名をテレサと名乗った。

1937年に終生誓願を宣立、以後シスター・テレサとよばれることになった。

1929年から1947年までテレサはカルカッタの聖マリア学院で地理を教え、1944年には校長に就任。

1946年、汽車に乗っていた際に「最も貧しい人の間で働くように」という啓示を受けた。

1948年、教皇ピウス12世からの修道院外居住の特別許可が得て修道院を出て、カルカッタのスラム街の中へ。

インド女性の着る質素なサリーをまとい、ホームレスの子供たちを集めて街頭での無料授業を行う。

1950年「神の愛の宣教者会」を設立。修道会のリーダーとして「マザー」と呼ばれるようになる。インド政府の協力でヒンズー教の廃寺院をゆずりうけ「死を待つ人々の家」を開設。

1979年ノーベル平和賞受賞

1997年9月5日、87年の生涯を終えた。

2003年10月19日、教皇ヨハネ・パウロ2世により列福。

●交通案内●

JR 仙台駅より徒歩10分

地下鉄仙台駅又は広瀬通駅より徒歩5分

東北自動車道仙台宮城 ICより約15分

